

検討経過と今後の予定

2021年度までのWGにおける検討結果および今年度検討内容（想定）については下記の通り

2021年度

2022年度（予定）

自動運転WG

- 実証実験を実施し、自動運転車サービスの社会受容性と一定の利用者ニーズを確認
- 検討の中でインフラ整備や事業採算性確保などの課題が顕在化

サービスロボットWG

- 地域におけるニーズを把握しサービスを検討
- 自動走行ロボットによる配送サービス実証を実施
- 幕張新都心における利用シーン明確化や効率的な運用の在り方などの課題が顕在化

マイクロモビリティWG

- 3つのPTで検討し、あるべき姿を
 - ・都市の魅力向上に資する
 - ・地域の暮らしを支える } 交通サービスと定義
- 電動キックボード・パーソナルモビリティそれぞれで実証実験を実施
- サービスモデルの構築、移動を促進するモビリティ、安全・安心面等において課題が顕在化

自律移動モビリティPT

- 自動運転サービスのルート選定、インフラ整備、ビジネスモデルについて検討
- 上記検討結果を基に、より実用化を想定した実証実験を実施

- 実証実験を実施し、住民や来街者など利用者に合わせたより詳細なニーズを把握
- 利用シーンに合わせたロボットの使い分けや他サービスとの連携について検討

マイクロモビリティPT

- マイクロモビリティのあるべき姿の実現に向けて、以下の事項を検討
 - ①移動のきっかけ創出・データ連携
 - ②多様なモビリティの普及
 - ③交通機能の分散
 - ④安全・安心な移動環境（ルール・保険面など）

2022年度運営方針

2021年度の活動内容や課題を踏まえ、2022年度は下記のような体制での実施

2021年度 振り返り

- 昨年度は5つのWGを中心に各テーマごとに議論を行ってきた。一部WGでは課題や個別テーマ毎にPTを設置し、より建設的な検討を実施
- 一方でWG毎に想定実装時期の違い等により検討のスピード感が異なっていると同時に、より多角的な視点から知見を寄せ集める必要あり

2022年度 方針

- 2022年度はWGを2つに集約し、各WGの下にPTを設置
- PTをテーマごとの検討の場、WGをPTでの検討内容の取り纏めの場として位置づけ、コンソーシアムとしてより統一感のある検討を目指す

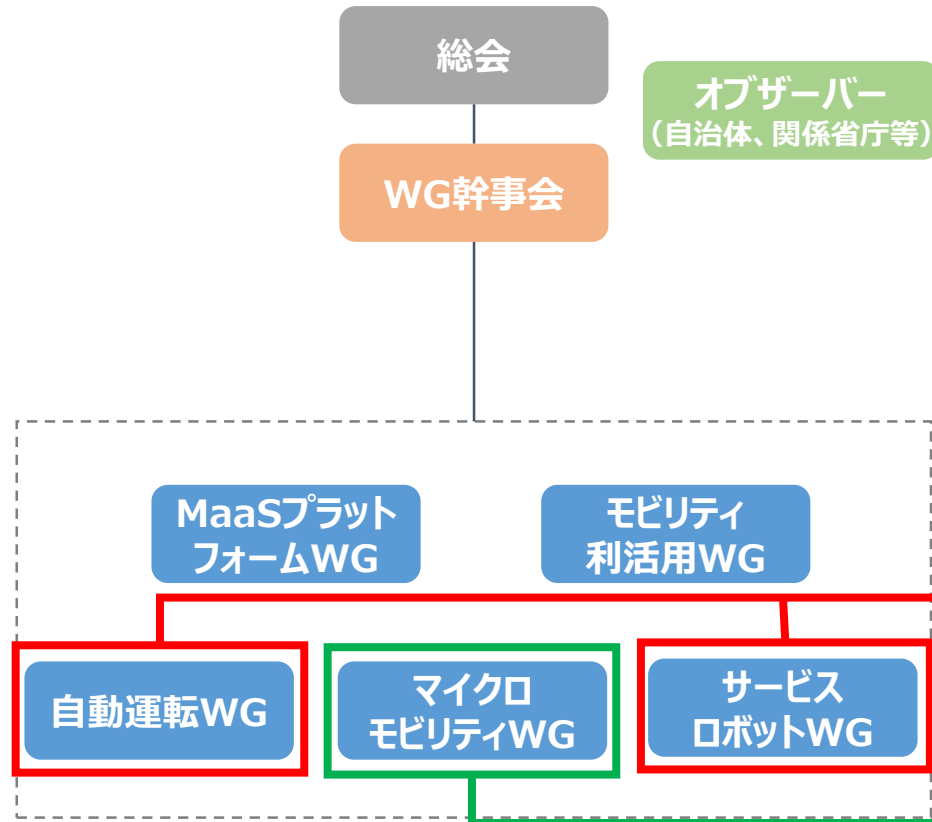
各会議体の位置づけ

総会・中間	各WG、PTの検討・実施事項の全体共有
WG	各PT検討の進捗管理・情報共有
PT	テーマ毎の各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

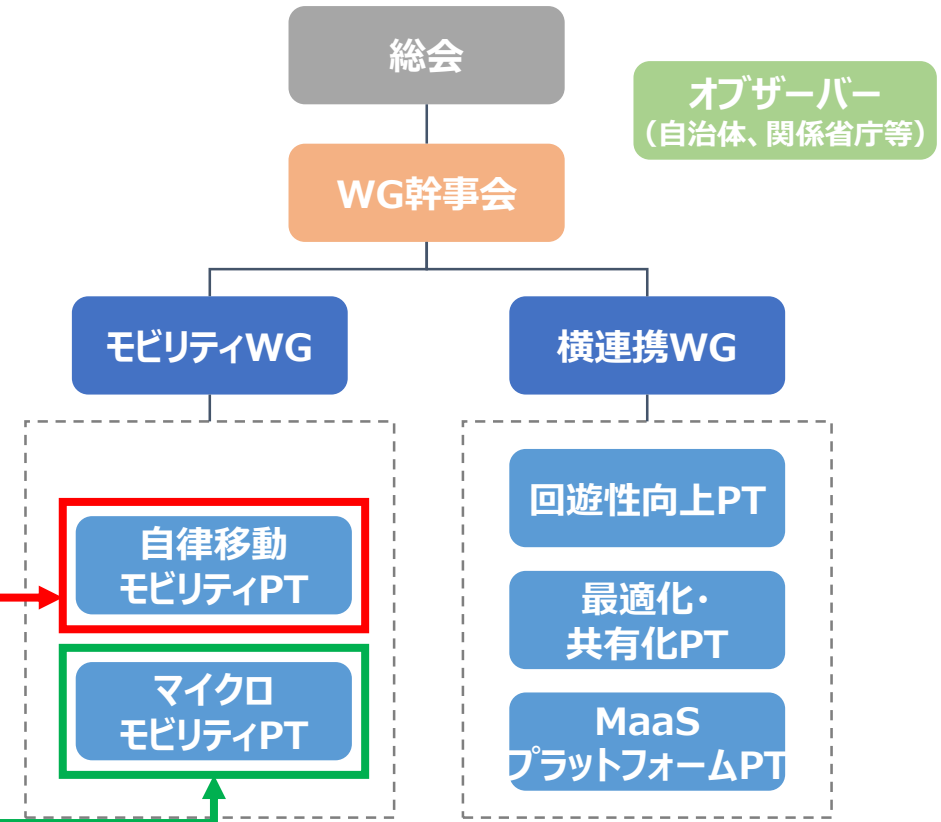
体制案

- ・WGを、モビリティサービスの導入・高度化を検討する**モビリティWG**と、サービスの最適化・一体化を検討する横連携WGに再編
- ・昨年度の自動運転WGとサービスロボットWGを集約して**自律移動モビリティPT**とし、マイクロモビリティWGは**マイクロモビリティPT**として、2つのPTをモビリティWGの下に設置

昨年度



今年度（予定）



各PT検討対象モビリティ案

PT・・・テーマ毎の各種検討や実証実験に向けた準備・各種連携を実施する場

各PTで行う主な検討対象モビリティは、前年度の取り組みを踏まえ、以下を予定

